

審判員の競技会参加促進と新規審判員の定着促進事業

目的 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会が終了し、徳島県で審判員登録者が急激に減少している。パート主任からは人員不足の声が上がり、競技会によっては運営が十分できない場合も出てきているのが現状である。

このため、現有の審判員の競技会参加の促進と新規に募集した審判員の長期の登録定着を促す必要がある。

この状況を少しでも改善できるように年間競技会参加数を基に、優秀な参加審判員に報奨事業を行う。

内容 これまでの競技会の規模や審判員参加数を基に、参加ポイントを計算し年度末に報奨を行う。具体的には、県陸協主催競技会と高校部・中学部・小学部・強化部及び郡市陸協・マスターズ等の主管(主催)によりポイントを計算し一定以上の参加者に報奨として物品又は報奨金を支給する。

具体案 ①県陸協主催 12日(カーニバル・県選手権・関西実業団・秋季カーニバル・中四学生)
②高校部主催 7日(高校総体・高校新人・高校駅伝・高校新人駅伝)
③中学部主催 9日(中学記録・中学大会・通信陸上・中学郡市・中学新人
中学駅伝・中学新人駅伝)
④小学部主催 8日(普及記録・全国交流大会予選・小学選手権・小学駅伝)
⑤強化部主催 6日(強化記録・国体最終・強化投てき)
⑥郡市・マスターズ主催 19日(県中長記録・徳島市中長・南部記録・マスターズ 陸上)
①～④については、1日参加について1ポイント、⑤⑥については1日1.5ポイントとして計算し、4月～2月までの競技会参加ポイントを計算する。
全61日(2022年度実績)のポイント総数73.5の7割以上(52点以上)を獲得した審判員に3月初旬に報奨物品又は報奨金(クオカード)を贈呈する。

資料 2023年度登録審判員数・・・264名(大塚製薬陸上部を含む)、学生審判70名
2022年度 // ...340名(大塚製薬陸上部を除く)、 // 84名
2021年度 // ...320名(//)、 // 47名

その他 報奨物品額又は報奨金額については、事務局が担当する。
報奨については、3月初旬に現品の本人への送付にて行う。
徳島駅伝・とくしまマラソン・阿波シティハーフマラソン等は除く。